

## 編集後記

2010年(平成22年), 科学分析支援センターは, 設立三十周年を迎えました. 本号はこれを記念して「三十周年記念号」と称し幅広くご寄稿をお願いしました. 多くの皆様から暖かいお言葉や素晴らしい成果のご紹介をいただき, それらを拝読するにつけ, 科学分析支援センターが多くの先生方, 職員の皆様, 学生の皆様によって支えられていることを改めて伺い知ることができました. 皆様に深く感謝申し上げます. また, 本年より科学分析支援センターが英語名をCACCS (Comprehensive Analysis Center for Science, Saitama University)に変更したために, 本号より名称をCACCSフォーラムといたしました. 表紙には埼玉大学の「科学」を「包括的に」サポートしたいというスタッフの願いが込められております.

さて, この稿を書いております2010年半ばは, 円高, 猛暑, 政情不安, 高齢行方不明者, 児童虐待, 尖閣諸島問題, など陰鬱な気持ちにさせるキーワードばかりが目立ちました. 大学に関連することとしては, 国の財政事情の悪化に伴う高等教育および基礎科学に対する交付金がますます削減されることがほのめかされております. そのような雲行きが怪しいなか, 一つの格言を見つけました. 物理学者であり珠玉の著作を残した寺田寅彦の「渋柿」の中の一文です. 『詩人をいぢめると詩が生まれるやうに, 科学をいぢめると, いろいろの発明や発見が生まれるのである』. 不遇な生前を過ごした啄木や中也が現代に残る詩を創ったように, 教育や研究環境に窮しつつも, 素晴らしいサイエンスがこの埼玉大学から発信されることを祈ってやみません. 科学分析支援センターはそれを精一杯サポートしたいと思います.

末筆にて恐縮ですが, ご寄稿の依頼に快く応じていただきました執筆者の皆様方が, ご健康でますます発展されますことを祈念申し上げます. また, この記念号の膨大な量の原稿と格闘し編集の労を執っていただきました, 新美智久専門技術職員, 菅谷知明氏, 松浦正俊氏に厚くお礼申し上げます.

(文責 畠山 晋)

### CACCS FORUM

埼玉大学総合研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 1 2010. 12

発行者 埼玉大学総合研究機構 科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保255

URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13